



KIMI ORR さんのTV会議が取り持つご縁

23期 常任幹事 畑地 豊 (2022年12月10日)

KIMI ORR さんの投稿作品 ホームページ21年9月30日

「アメリカの中学校で教えて/二部」

みなさん思い起こしていただけるでしょうか！

P5～P7ページに記載しておりますが、

今を去ること2007年5月、KIMI ORR さんが受け持っていたアメリカT中学校のクラスと、遠く離れた日本の中学校との間で「テレビ会議/テレビを通して交流する」ことを実行された時のことです。KIMIさんのお嬢さんの「エミリーさん」が英語教師としてその日本の中学校に派遣されていた時のお話でした。

そしてその中学校は、なんと私畠地の出身地である三重県熊野市の「新鹿(あたしか)中学校」だったのです。KIMIさんとのメールのやり取りの中で、ふと漏らした一言がこの関係に突然たどり着いたのでした。

この偶然に判明した「トライアングルの関係（出来事）」に全くの驚きを禁じ得ませんでした。2007年と言えばかれこれ15年前です。



私は当時の新鹿中学校でTV会議をした時の「校長先生」を探してお会いしたいと思いました。何故そんなことを！ 考えていても答えなど有る筈が有りません。「KIMIさんがお元気でこうして同窓会活動で元気につながっていますよ」と報告をしたかったということ、尚且つその同級生が熊野市出身で有るという世にも数奇な奇跡と言いますか、ファンタスチックな出来事をお伝えしたかったということでしょうか！こんな事ってなかなか珍しいことではないでしょうか！実際その様な関係であったとしても、15年後にこんな関係が判明するということが、やはりfantasticであり、splendidなことではないでしょうか！

当時の遠く海を越えたアメリカとTV会議でつながるという電波、電信の技術と言い、KIMIさんの先進的な発想力にチャレンジ精神、また其の計画を受けて立ったという、日本サイドでその旗振りをされたであろう校長先生の進取の気性にも魅力を感じていたのです。

思い立ったら猪突猛進です。新鹿中学校に電話をしてみました。
次はやはり熊野市の教育委員会が一番か！丁寧にメールを打信しました。
なかなか返答が来ません。調査に時間が必要なのでしょうか！

私はこうと決めたら短兵急なところが有ります。もたもたしとるんやったら別の手を打とうとなって、熊野に在住の私の甥っ子に電話で相談しました。そしたらなんと数日以内に「おいちゃん！分かったよ！」と電話です。

「えつ！」私は目を白黒したかも知れないほどの驚きです。

如何にしてこんなに短い時間内で判明したのか！

甥っ子の彼が申しますには、ビジネスを通じて親しくゴルフコンペ（仲間うちで集って楽しく催すゴルフの競技会）などでお付き合いのある、元教育長さんに相談したところ、一発で判明したと言うのです！

新鹿海岸



そして私が出っ張るまでもなく、すべて彼が当該の元校長先生に連絡を付けてくれたのです。

当時の校長先生は今は定年退官されておられます。そしてそのお住まいは当時の学校所在地の「新鹿町内」では無く、ご自身のお住まいである「五郷(いさと)町」ということでした。私の故郷の山ひとつ超えた隣町になります。昔と違い今は山の峠越えで歩く必要も無くなり、自動車でしたら約30分の距離になります。昔だったら峠を二つ超えるので、かれこれ2時間弱の行程だったろうと思います。

そして5月末、熊野に帰省して大きな目的であった先生にお会いさせて頂きました。私よりも数歳はお若いきれいなお方でした。伊勢地方のご出身だそうですが、結婚されて熊野人となられました。

先生は現職時代には私の出身地の中学校にも勤務されたことが有ったこと、そして当時私の甥っ子2人もお世話になったということまでお聞きしました。

KIMIさんが大阪に里帰りでもなさったら、

「大阪まで出向かせてもらいますよ」

とまでおっしゃって下さいました。

11月にも熊野で法事があり帰省しましたが、その時も先生宅を訪問してKIMIさん投稿作品のコピーなどをお渡しして、話に花が咲きました。

2022年も過ぎ去ろうとしていますが、今年も佳い出会いに恵まれました。

(完)



吉野熊野国立公園/鬼が城



畠地の故郷/神川町（かみかわ）